

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	学生道場 mini ゼミ B				
担 当 者	森谷徳文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	5.0	5.0	4.9	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>今後も口腔外科への興味を継続していただけると嬉しいです。何か疑問点などがありましたら口腔保健学科までお越しく下さい。余談ですが、エジプトについても興味があれば調べてみたり日本で開催されている古代エジプト展に行ってみてください。最後に紹介した YouTube のチャンネルはとても大事な内容なので、このチャンネルで継続して学び続けるときっと将来の役に立つと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.9	4.9	4.7	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>1 年生後期科目として開講したこの科目には、8 名（医療検査学科 2 名 看護学科 2 名 口腔保健学科 2 名 こども教育学科 2 名）の学生さんに受講をしてもらいました。「口腔の健康」と「身体の健康」に興味を持っていただきたく、講義や実習、また学生さんによるプレゼンテーションなど楽しく授業をおこないました。</p> <p>皆さんには積極的な姿勢で受講してもらい、授業評価の II～V の 4 項目は全て高い評価をいただきました。この講義を受講して、知らなかったことを知る喜びや自身の健康に向き合う姿勢など、専門職業人として基本的な態度を身に付けてもらえたのなら嬉しいです。</p> <p>これからの学生生活においても、何事にも能動的に、そして楽しみながら学習を積み重ねていってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーション II				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.1	4.2	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>この授業では「読む」ことに重点を置きました。授業でも述べたことですが、「何となく雰囲気を読んでやる」ということは学生時代には避けてほしいことです。医療従事者になるみなさんが、将来仕事で必要となる語学力は「正確さ」だと思います。相手の考えを正確に読み解くためには文法も必要ですし、語彙力も必要です。中学高校と英語を学んできているので、今後は新しい文法は必要ありません。また複雑な文法も必要ありません。これまでに習った基礎的なことを思い出し、使えるようにしてください。</p> <p>英語が得意な人も苦手な人もいますが、今年度の皆さんはよく努力をしていたと思います。毎回出題されたマナバの課題も概ね遅れることなく提出できました。課題自体はさほど難しいものではなかったと思いますが、学習の習慣をつけてほしいという意図で出題されたものでした。</p> <p>英語の学習はどのようなものを使ってでもできます。時間が自分のために十分に使える学生時代に、自分に合う方法で英語に是非取り組んでほしいです。医療現場では英語が必要な場面が多いことと思います。これからも自分で積極的に学んでくれることを願っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.4	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>今年度の皆さんは非常に意欲的に取り組んでくれました。個人で課題に取り組むだけでなく、全体でひとつの課題について話し合うという授業形式でしたが、活発な意見交換があり授業が進めやすかったです。皆さんは日本語のセンスも良く、積極的に取り組んでくれました。それぞれが自分の意見を持ち、個性を活かして課題に取り組むことが出来たと思います。私自身、言葉に対する皆さんの感性に驚かされたり、感心したり、新しい発見をさせてもらいました。医療検査学科、口腔保健学科、こども教育学科から受講してくれていました。それぞれの専門職を目指す人たちとお話できて良かったです。まとめの授業でもお話ししましたが、皆さんはこれから言葉を大切にしなければいけない職業に就きます。このゼミで学んだことを活かして言葉のもつ力と向き合い、言葉を磨いていってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	まなぶる▶ときわびとII				
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.5	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この授業のねらいは、「計画的に学修できるような習慣をみにつけること」と「教え合い、学び合いを通して学習効果を高めること」です。皆さんは国家試験や教員採用試験にパスしないと専門職業人にはなれません。そのために自分の学びの特徴（自分の能力把握や学修全体に対してどれだけの時間をかけて取り組む必要があるかなど）を1年生の間に把握しておくことが必要です。SPI（非言語）という教材を使用したため、学生によって得意不得意があったと思います。しかしながら SPI テストセンターは日本でもっとも使われている採用テストと言われています。専門職の採用試験でも使用されることも増えているようです。この経験は決して無駄にならないと思います。実施方法等については、先生方で話し合っ、よりよい方法を我々教員も探していきます。この授業は今年で最後の授業となります。来年度からは形を変えた実施となります。3年後のみなさんの成長した姿を楽しみにしています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	現代社会と生命科学				
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.0	3.8	4.2	3.9	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>お疲れさまです。</p> <p>慣れない遠隔授業で、スケジュール管理など苦労したのではないのでしょうか。</p> <p>学科も学年も「多様性」のある皆さんでしたから、これまでの「生物」の学修状況によっては難しいと感じた方もおられたのではないかと思います。授業評価の提出数が少なく、正確な評価はむづかしいですが、授業内容（理解度、知的関心）の評価がやや低かったことから、難易度が少し高かったのではないかと考えています。今後の改善点です。</p> <p>現代は最先端の生命科学が皆さんの身近にあり、その科学技術を享受するかどうか、皆さん自身にゆだねられる場面が増えています。グループワークで扱った NIPT もそうですね。こんな時代を生きる皆さんに、授業を通じて、「高校までで学んだ生物学で、多くのニュースが理解できる」ということと「理解したうえで導き出す答えは、ひとそれぞれ違ってよい」ということを感じていただけたのなら、この授業の意義はあったと思います。</p> <p>これからも、生命科学は目覚ましいスピードで発展し続け、解決すべき新しい課題が生まれてきます。そんなときは、生命科学の基礎に戻ってじっくり考えてみてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.8	4.8	4.7	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>お疲れさまです。</p> <p>「8回の授業で3回も発表があるなんて！」というのが、皆さんの偽らざる感想でしょうか。</p> <p>「はたらく細胞～推しの細胞を探せ」なんていうふざけたタイトルを付けましたが、この授業の真の目的は2つありました。</p> <p>一つ目は、「ヒトの体は多様性のある細胞で構成されていて、それぞれが重要な役割を果たしている」ということを感じていただくこと。</p> <p>個性ある細胞を選んだ皆さんたちは、きっと「感じて」いただけましたね。</p> <p>二つ目は、今後も使えるプレゼンテーションのスキルを身に付けていただくこと。</p> <p>「(科学的) 事実を調べ→発表のポイントを明確にして→聞き手に響く工夫をする」</p> <p>この3ステップはどこでも使えます。是非活用してください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ				
担 当 者	松尾寛子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	4.5	4.2	4.5	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>休日や冬休み期間中の見学にもかかわらず、真面目に取り組んでおられる姿が印象的でした。施設の方のお話を熱心に聞き、しっかりと質問や意見も述べておられ、1年生とは思えないぐらい、しっかりとした学生さんの集まりだと感じました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	横山利枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>私が担当した大学道場 mini ゼミ「子どもの健康と遊び」では、子どもの遊びをさまざまな視点から考え、その成果を多文化子育てサロンで実際に子どもたちと一緒に遊ぶ活動に活かしました。みなさんがこの活動に一生懸命取り組む姿から、子どもへの理解を深め、関わるヒントをしっかりと得ることができたと感じています。</p> <p>他学科の学生さんを含め各バディで協力して行ったプレゼンでは、いろいろな鬼ごっこの比較や、大人と子ども・男の子と女の子の遊びの違いなど、多角的な視点で考察していて、とても新鮮で楽しい時間になりました。テーマを決めたり、おもちゃを考え作成しているときのみなさんの生き生きとした笑顔は、本当に素敵で、楽しみながら目標達成に向けて頑張っている様子がよく伝わってきました。</p> <p>子どもにとって遊びは生活そのものであり、遊びを通して心も体も成長していきます。今回の経験が、みなさんが専門職者として子どもと関わるときに「何を大切にしたらいいか」を考える力につながることを願っています。</p> <p>みなさんの頑張りとお笑顔が、このゼミでの活動をより豊かで楽しいものにしてくれました。本当にお疲れさまでした！</p> <p>これからもその気持ちを大切に、子どもたちとの関わりを楽しんでください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1	
科 目 名	アカデミックライティング			
担 当 者	山下敦子			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)
3.7	4.2	4.2	4.2	4.3
学生へのメッセージ				
<p>この授業では、文章を書く上での基礎的な知識と書き方、読み方を演習しました。得た知識、技能は、日常生活に反映し、そこでブラッシュアップして行ってください。レポートを作成するときにパラグラフライティングや縮約の技法を生かしてください。使い続けることで文章表現力は向上します。</p>				

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	2		
科 目 名	地域との協働 B				
担 当 者	澁谷雪子、京極重智、伊藤彰、中村美紀				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	5.0	4.7	4.9	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>本年度の「地域との協働 B」は、昨年、地域交流として小豆島に参加した学生が3名/10名含まれていました。宿泊施設、小豆島、企画について知っている学生がおり、皆さん自身で考える時間を多くとれたと思います。</p> <p>皆さんからの評価結果は、I 学生自身が3.9(基盤平均との比 1.11)、II 授業内容が5.0(比 1.16)、III 授業方法 4.7 (比 1.07)、IV 学習成果 4.9 (比 1.11)、V 総合評価 5.0 (比 1.14) でした。</p> <p>各設問を見てみると、どの学科もほとんどの項目が学科平均より高い評価 (比 1.1 以上) でした。唯一、設問「授業の進行速度は適切であった」が2学科で学科平均より低い評価 (比 0.91、0.68) でした。最も高評価であった設問は、「授業は知的関心や好奇心を起す内容であった」でした。こちらの設問は、皆さん自身で進めていく授業では、評価し難かった設問なのではと思います。</p> <p>また、「他学科の人と一緒に活動を進めて行くため、新しい友達ができ、学生主体で進めて行くので行事やイベントを実行するための難しさを学んだ。」というコメントがありました。楽しみもありましたが、自分たちで進めていく難しさも感じていたようです。</p> <p>高評価の設問、コメントを見ると、皆さんが意欲的に取り組んだことから、「好奇心」「深める」「自分で調べ、考える」「満足」と感じていたことがわかります。</p> <p>この授業を履修したことで、自分で考え、意見交換し、計画・実行できたことを自信として、これからの学生生活を送り、将来、教育者・医療人として充実した社会人生活を送っていただければと思います。</p> <p>地域活動を意欲的に進めていただき、ありがとうございました。学生の皆さんが作りあげる授業でしたが、いかがだったでしょうか。これから、学内でお会いすることもあるでしょう。そして、地域活動でもお会いしましょう！ (E 京極、R 伊藤、O 中村、M 澁谷)</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	いのちと共生				
担 当 者	尾崎雅子、濱田道夫、塩谷英之、伊藤彰、上原弘美、溝越祐志、深川幹				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.2	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>本科目は基盤教育科目で、本学の保健科学部・看護学部・教育学部に共通する「いのち」をテーマに、いのちを様々な方面からとらえ、ひとが健康（幸せ）に過ごすためにどう共生していくのかを考える科目でした。複数の担当教員が自分の専門の立場から講義があり、皆さんのレポートにも「今までにない考えに触れた、考えが広がった」なども学びがあったと思います。授業評価の結果、カテゴリー I（学生自身）の 3.7 は全体から比べると低かったですが、遠隔授業であったこともあり、視聴されレポートを作成する時間として回答されたかと思います。カテゴリー III（授業方法）では「11：学生の質問や意見への対応が十分なされていた」が 3.96 と低くなっていました。授業自体が対面ではないので意見を十分に受けることができず、一方向になってしまっていたことが一因だと思いました。</p> <p>今後はこの授業で学び、感じられたことを大切に、自分が目指す専門職像に向けて頑張ってください。</p> <p>最後になりますが、授業評価へのご協力をいただき有難うございました。ただ、200 名を超える方が受講されましたが、回答は 49 名と少なかったのは残念でした。今後はこの結果をふまえてより良く改善していきたいと思います。今後も授業評価へのご協力をよろしくお願いします。</p> <p style="text-align: right;">（尾崎雅子）</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	布引 治				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	5.0	5.0	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>高い評価をいただき、とても嬉しく思います。励みになります。mini ゼミ B を通じて、さまざまな視点から考える力を身につけていただければ幸いです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ（水曜 1.2 限）				
担 当 者	近藤みづき・山下耕平				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.1	4.8	4.7	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>アンケート結果から、皆さんが満足いく授業が展開できたと考えています。記述をみると、良かった点は「テニスが楽しくなりました！今までなんのスポーツをしても難しかったけど初めてやりがいを感じてとても楽しくできたし、自分の実力も上がったと感ずることができた。」</p> <p>「未経験でしたが、レシーブが返せるようになり、成長を感じることが出来ました。体育で上達したと感じたことが今まで無かったので、成長を感じた時は嬉しかったです。」「男女の差を平等なルールでスポーツすることで、みんなで団結することが楽しかった」等の意見がありました。</p> <p>改善点については「距離感的に説明が聞きづらい点がありました。」「寒い」等の意見がありました。聞きづらい時は、授業内に伝えてもらえるとすぐに改善できますので、お伝えください。</p> <p>「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、スポーツ種目をいろいろ体験する内容と、一つのスポーツの奥深さを体験する内容で構成しています。学生の皆さんには、毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。単に体を動かすだけでなく、授業を適切にふりかえること、技術を経済的に合目的に習得する方法を考える等、主体的に授業に取り組むことを期待しています。さらに、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされることを願っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ（火曜 3.4）				
担 当 者	近藤みづき・柳本太三				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.3	4.7	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>アンケート結果から、皆さんが満足いく授業が展開できたと考えています。記述をみると、良かった点は「先生がしっかり寄り添ってくれることで苦手なバレーが少しだけ好きになった。」「未経験者が基礎をしっかりと習得できるよう、基礎的な指導を丁寧に行っていた」「試合が多くとても楽しかったです。」等の意見がありました。</p> <p>改善点として「終わる時間が遅い。」「グループ分けで上手いと下手に別れているように思った」「すべての種目でもう少し試合の時間を増やしてほしいです。」等の意見がありました。</p> <p>終了時間に関しては、着替える時間も含めた授業時間にするよう改善します。テニスは経験の有無によって大きく変わる種目ですので、全員の学習効率を高めるためにグループ分けは時おり習熟度別にしました。授業内で説明したつもりでしたが、伝え方を検討します。試合時間については多いという意見と少ないという意見がありますので、今度、検討したいと思います。</p> <p>「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、スポーツ種目をいろいろ体験する内容と、一つのスポーツの奥深さを体験する内容で構成しています。学生の皆さんには、毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。単に体を動かすだけでなく、授業を適切にふりかえること、技術を経済的に合目的に習得する方法を考える等、主体的に授業に取り組むことを期待しています。さらに、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされることを願っています。（近藤）</p> <p>この授業では、運動、スポーツの楽しさや爽快感を体感することができ、実際に運動する中で仲間と力を合わせることの楽しさや、何かができるようになる楽しさを、味わうことのできる授業になればと思い、行ってきました。</p> <p>みなさんと授業をしていて感じたこととして、どの授業にも意欲的に取り組んでいたところがとてもよかったです。その前向きな姿勢は、これからの学生生活でも大切にしてほしいと思います。（柳本）</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	浦 みどり				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.6	4.7	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。非常に高い評価を頂きました。これは、皆さん一人ひとりが、限られた時間の中で課題に向かって一生懸命取り組んだ成果が表れていると思います。授業が進むにつれ、私自身が皆さんのグループワークの様子や成果を楽しみにしておりました。協力しながら短時間でまとめる力や深い洞察力、そして広いテーマから意見を絞り込み、まとめていく力に、毎回驚かされていました。</p> <p>唯一、「授業以外に学修した時間」の評価が低く、一見残念に思われますが、皆さんの成果の質の高さなどを拝見すると、これは授業時間内に集中して取り組めた証しですよね。全員がそれぞれ自分の役割を果たせたことも、満足度の高さに繋がっていると思います。</p> <p>グローバル化の一方で、分断や「本国ファースト」の傾向が強まる世の中ですが、今後も積極的に世界に目を向け、興味を持って考え、ご自身に出来る事にチャレンジして頂けると嬉しいです。これからも一緒に頑張っていきましょう！（担当教員：浦 みどり）</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	現代社会学				
担 当 者	伴仲 謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.1	4.3	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。また、その中の授業評価に協力していただいたみなさん、ありがとうございました。</p> <p>この授業は、ICT 機器の活用やスキルの向上も目的として、対面と遠隔とのブレンド型で行いました。授業のねらいは、新聞を介した時事問題を題材にして、「自分で課題を見つけて、その課題を自分で解決する」というこれからの社会人（「働いている人」という意味ではなく、社会に生きる全ての人）に求められる力を、体験的に身につけてもらうことを企図しました。</p> <p>実際の授業は「自分たちで授業を創る」というスタイルでしたが、実際にやってみてどのように感じたでしょうか？実のところ、このような授業形式は必ずしも学生受けが良いわけではありません。その証拠に毎年相応の中途離脱者が出ます。しかし、その一方で授業評価の結果を見ると、授業以外の学修時間は他の科目平均を上回ります。この事実をどのように解釈するかは、みなさんに委ねたいと思います。基盤科目かつ選択科目ですから、履修するかどうか、最後まで履修するかどうかはみなさん次第、その上、科目による難易度も様々。これが大学での授業です。上級生になるほどに専門教育の濃度が増していきますが、専門科目だけにとらわれず、より広い視野を意識して学ぶという基盤科目の理念を忘れないようにしてほしいです。</p> <p>これからも各種ニュースや新聞に目を通す習慣を継続して、時事問題に注目してくださいね。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	プログラミング入門				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.4	4.4	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「学生の質問や意見への対応が十分になされていた。」「授業の進行速度は適切だった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。</p> <p>プログラムを提出される際に古いバージョンを提出されることがあり、きちんと動かないことがありました。提出の際はよく確認するようにしてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	2		
科 目 名	プログラミング演習				
担 当 者	関 雅 幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.0	3.9	3.9	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価の結果は「板書、スライド、教材などの使い方は適切だった。」「学生の質問や意見への対応が十分になされていた。」等の事柄に対して特に課題の残る結果となりました。</p> <p>臨床実習・本格的な国試対策・卒業研究を前に、目の前の課題をいかに解決するかを考えることはよいトレーニングになったのではと思います。知識を記憶することはもちろん大切ですが、論理的に思考することについても重要視してください。</p>					